

鴻巣生まれのコウノトリ「晴」と「天」 「天空の里」から未来へ羽ばたく

県内初



施設の上空へ飛び立つ「晴」

7月18日、コウノトリ野生復帰センター「天空の里」でコウノトリ放鳥式典を開催し、埼玉県内初となるコウノトリの放鳥を行いました。式典では、2羽が野外へ出られるようケージ上部のネットを開放。会場に集まった来場者が見守る中、野生復帰に向けた新たな一歩を迎えました。

ネットの開放から約2時間後、「晴（はる）」がケージを出て飛び立ち、施設の上空を数回旋回しました。「天（てん）」も3日後の7月21日に飛び立ちました。2羽が自然の中で健やかに暮らし、いつの日か鴻巣市に戻ってくることを願っています。

愛称は「晴^{はる}」と「天^{てん}」に決定

5月から6月にかけて、コウノトリのヒナ2羽の愛称を募集したところ、270人から526件の応募が寄せられました。応募結果を踏まえ、2羽の愛称は「晴（はる）」と、「天（てん）」に決定しました。

「晴」は晴れ渡る空をイメージした名前、「天」はコウノトリ野生復帰センター天空の里にちなんだ名前です。



晴（足環の色 左足：黄黄緑） 天（足環の色 左足：黄黄青）



コウノトリの放鳥を見守る来場者



放鳥式典の様子

放鳥の様子はこれから

当日のコウノトリの様子を市公式 YouTube で公開しています
(晴が飛び立つ瞬間は3時間00分05秒ごろ)

